

## 高雄日本人学校の風

校長 高口和治

### 12月3日 (月)

中学部1, 2年生は、エンテイ国中に出かけて来ました。ヨットにのるなど、普段経験ができないことをさせてもらいました。かなり、びしょびしょになったようです。こちらからは、太鼓の演奏でした。

部活の時間に吹奏楽をのぞいてきました。仕上げに入っていました。音はとれていていい感じになってきています。私は、指揮者を見て、もう少し、指揮者が要求していることを表現してくださいを話をしてきました。期待しています。

### 12月4日 (火)

中学部の学部長会で話をする機会がありました。

君たちに期待するという話をしました。

私は20年前バンコク日本人学校に勤務するときに、大正生まれの父親に『食い詰めたわけでもないのになぜ外国に行くのだ?』と聞かれました。父親の世代では、ブラジルや満州に渡るのは自分のところどうまくいかないから、外地に出て一旗揚げるといった感覚なのです。台湾もその一つであったという話もしました。また、24歳になる息子は、会社を決めるときに外国に行ってまで仕事をしなくてもいい、とあって、会社を選ぶ一つの理由にしました。じゃ、君たちはどうか。ということで本間さんの例やバンコクでの例、今の中学生が置かれた状況を話をしました。また、先日きた片野新聞記者の記事は新潟ではずいぶん反響があった。しかし、記事になった以外にも実は取材をかなりしていた。例えば、一日かけて烏山頭や竹田に出かけて、夜は日本語を話すおじいさんに10人以上インタビューをし、日本人社長にもインタビューをし、交流協会にもしました。それで、初めて記事になったのです。という話でした。

交流会も終わり、以前にも書いたように、教頭先生の経験からすると、高雄日本人学校の子供達は積極的に交流を行っているとのこと。その上にさらに積み重ねてくれればという想いで話をしました。

### 12月5日 (水)

小学部が高雄師範大学附属小学校と交流会がありました。9時に歩いてやってきました。

運動会の再現の踊りを歓迎セレモニーで披露しました。1, 2年生のダンスでは、「か

わいい」という感じです。3, 4年生は、ライジングサンと南中ソーランの披露です。附属小の先生から『ソーレ』というのは、かけ声ですかという質問がありました。質問の答えになるか、魚をとるのに網を引くときにかけ声をかけたのです。と曾先生に伝えてもらいました。

## 12月6日 (木)

昭和3年生生まれの陳さんから小学部5年6年生が社会科として、話を聞きました。陳さんは、ゼロ戦に乗っていた方です。私は以前、直接話を聞いたことがあったのですが、落とされて自分が海に墜落したという話は初めてでした。それも何回もと言っていました。渡辺先生の話の誘導で当時の生活の様子だとか、また、子ども達の質問からも、飛ぶときに、死にそうになったときに、どのような気持ちだったかのかについて話をしてくれました。終始悲しそうでも怒った様子でもなく、楽しそう（ちょっといいすぎなのですが、淡々とでもなく、表現がみあたらず）にお話をしてくれました。生死を乗り越えて、今も元気に過ごしているという陳さん。終わってから話をしましたが、週に3回は運動をしているそうです。日本人に元気をもってほしいと、お礼の歌の感想を述べていました。

私は、日本兵として戦闘機に乗っていたのは、理屈では理解していますが、どういように感じているのか怖くて聞けません。この陳さん以外に親しくしている人で、日本兵として従事していた人も二人いますが、戦争の話をするといつも笑って話をしてくれます。どう考えたらいいのか、私はいつもわかりません。

6時間目は、5年生6年生一緒に日本の国立長岡技術大学（新潟）の教授が水（汚水処理が中心）の授業をしてくれました。これは、新潟で実際に山口教授（44歳）が小学校への出前授業として行っているものをアレンジしてやってくれました。プロジェクターの調子が悪く、本来顕微鏡で見たものをスクリーンで映す予定でしたが、直接顕微鏡をのぞくことになりました。池の水を見たのですが、いろいろ動いているのが見えます。5種類は微生物がいたようです。当校のクマムシ博士は「ワムシ」とつぶやいていたと、山口教授が伝えてくれました。

山口教授は成功大学に留学生を長岡技術大学から送っている関係で指導にきました。そこで私と教頭で成功大学についていき、下水処理の研究の最先端の一部を見せてもらいました。その研究室では、台湾の下水に関する法の根拠になる研究もしているとのこと。大学校内は、日本時代の建物もあり、きれいに使われていました。日本人学校の子どもを連れてきてもいいという話でしたので、興味がある人がいたら機会を見つけて行きましょう。（朝、当校のクマムシ博士に会ったので、早速伝えました。）

山口教授は、私が新採用教員1年目と2年目で社会科を教えた生徒です。新潟では、卒業（昭和59年3月）以来会ったこともないのに、台湾で会えるなんて凄いことです。